



荒川区西日暮里2-55-1
国鉄労組東京地方本部
発行責任者 鎌田博一
編集責任者 常盤達雄

No.1803

2017年

2月5日

国労加入を
大胆に訴えよう

連載企画
分会紹介

54

浦和電車区

分会

国労東京新春旗びらき 組織拡大・春闘勝利誓う

東京地方本部は一月六日にホテルラングウッド(日暮里)において、二〇一七年新春旗開きを開催し、多くの共闘の仲間、国労各級機関の仲間が集まり、二〇一七年を全力で闘い抜く決意を固めあった。

一〇時三〇分に松川書記長の司会で旗開きは始まり、最初に鎌田委員長から政治的課題、組織強化・拡大、一七春闘などにふれた主催者あいさつがされた(内容別掲)。

まず東京交運労協・高橋議長が「私たちの運動は長く続かなければならない。安全・サービスを提供してくれる組合員を守る運動をしていきたい」などの来賓あいさつをおこなった。続いて、この旗開きを共催する国労東日本本部・菊池委員長から「組織拡大について、試練の年になる。もう一度原点に返って努力していきたい」などのあ

新春旗開き



鎌田委員長

国労東京新春旗開き



国労東京議員団 青山団長 河野事務局長

年も前から安倍がやっている。働き方改革というが、労働者が考える改革とは違う。言葉を使っただけです。一人ひとりの人たちが、事実を伝えていく必要がある。高木弁護士からは「外注化と労働問題、安全問題を研究している。経費を抑えるための外注化↓労働者が定着しできない↓人手不足↓技術継承できない」といった状況で、あと五年すれば年配者がいなくなる。安全を守る国労



の運動をしよう。それがまた、国労をつよくする」などのあいさつがされた。

若干の時間をあけ、後半は常盤教宣部長の司会に交代し、都労連、全水道東水労、中央労金などから、そして、国労本部・坂口委員長からあいさつを受け、続いて青山秀雄団長を先頭に国労東京議員団に登壇していただいた。最後に各地区本部・支部を代表し、今年八王子地区本部・横森書記長から今年一年の決意を受け、最後に鎌田委員長の団結がらばらうで、この一年組織拡大をはじめ、平和と憲法の問題など多くの課題に全力で取り組む決意を固めあった。

委員長あいさつ

昨年は安倍政治の反動性・強権性が明らかになった年。一昨年の安全保障関連法、いわゆる「戦争法」の強行採決・成立。昨年年末には「駆けつけ警護」のために、自衛隊を南スーダンへ派遣するという暴挙。同時にTPP関連法案、カジノ解禁法案、年金カット法案など強行採決を繰り返してきた。労働分野においても「働き方改革」と称した残業代ゼロ法案や解雇自由法案の上程など、労働者保護行政の根拠を破壊する動きも、今年強まってくるだろう。私たち自身が、労働組合の立

来賓で来られたみなさま

- 東京平和運動センター 佐藤議長
- 東京地評 松森事務局長
- 東京全労協 寺嶋事務局長
- 東京都労働組合連合会 和田書記長
- 全水道東水労 諸隈書記長
- 中央ろうきん東京都本部 柴崎副本部長
- 中央ろうきん荒川支店 茂山席調査役
- 五井支店長
- 羽田代表
- 山添拓参議院議員
- 高木よしえ都議会議員
- 高木弁護士
- 鴨田弁護士

場から安倍政権を早期に退陣させる運動を作り上げていくことが求められている。全国の広範な仲間とともに、安倍政権を打倒する運動の盛り上がりを作り上げていくために、国労東京も全力を挙げる決意を申し上げる。

次に私たちの最大の課題である組織強化拡大。私たちは全ての闘いを組織強化拡大に集約しよう。全機関で意思統一を深め、実践を積み重ね、新規採用者をはじめ一名の新たな仲間を国労に迎え入れた。日常的な改善活動の積み重ね、信頼関係がこうした成果に結びついた。組織強化・拡大の取り組みこそが、組織の命運をかけた闘いであることを全体で確認したい。先進的な取り組みに全体が学び合いながら、組織として成果や教訓を検証し、この一年間東京地本は精力的に拡大運動にまい進していきたい。

一七春闘について。この数年官製春闘と言われ、政府主導の春闘が作り出されてきた。春闘の変質を許さない闘いを作り上げていく事が、労働側に求められている。生活でさる賃上げ要求の獲得や、労働条件改善、安全問題、組織拡大としっかり結合させ、政治的・国民的諸課題と連動させた春闘として発展させていかなくてはならない。

最後になりますが、参加された皆様方の一年間のますますの活躍を祈念いたしまして、あいさつとします。

「浦和電車区」は、二〇一五年三月の「京浜東北線・根岸線の乗務員基地再編成」により、運転部門の「さいたま運転区」と車両検修部門の「さいたま車両センター」へとそれぞれ独立した職場となり、一九六二年(昭和三十七年)発足以来、約半世紀続いていた「浦和電車区」という職場名に終止符が打たれました。

分会は、運転区・車両センター・大宮派出・構内(JETS出向者)・エルダー組員で構成され、現在二十一名です。

運転区では、基地再編に伴う乗務員行路の見直しにより、行路のロング化が進み、乗務員の精神的肉体的苦痛が顕著となっています。車両センターでは、構内業務が外注化され四年が経ち、プロパー社員の養成が進んでいますが、技術継承や偽装請負の問題は

組織の強化・拡大に繋げるため、若手社員との趣味を通じた交流・つながりを続けていきます。

日本共産党東京都委員会

山添拓参議院議員
高木よしえ都議会議員
高木弁護士
鴨田弁護士

この他、全交運共済東日本事業本部、国鉄労働会館・アベニール、鉄道退職者会、東京地連、株式会社AZUMA(東葬祭)、勤労者総合サービス企業組合などから、多くのご参加をいただきました。



新春マラソン大会

新春の皇居を走る

東京地方本部は、新春の一月一四日に、第三八回新春団結マラソン大会を開催した。マラソンは今年も皇居周回のコースで行われ、冬晴れで風もほとんど無い絶好のマラソンびよりの元で行われた。

一二時に開会式が行われ、鎌田委員長からの主催者あいさつのおと、海口審判長からの諸注意がされた。一二時三〇分に鎌田委員長の合図でAクラス二周、Bクラス一周が同時スタート。寒波で気温は低めだったが、冬晴れのもと、沢山の皇居ランナーに混じって、多くの組合員・家族が、素晴らしい眺めの5kmのコースに走りだした。

Aクラス(二周)の優勝は、昨年の第三七回大会・Bクラス(一周)優勝、一月に開催された第二一回東日本本部マラソン大会個人の部優勝の、蒲田駅・鈴木さんの連覇となった。Bクラス(一周)優勝は、昨年三位だった立川車掌区新井さんが勝ち取った。



Aクラス(2周) 3位 松浦選手 準優勝 伊藤選手 優勝 鈴木選手

支部、国労東京ハムクラブ、国労東京走友会の皆様のご協力で、無事に終了できた事に感謝申し上げます。

成績表

Aクラス(二周)

鈴木 博文	三九分五二秒	新橋支部
伊藤 康明	四一分二〇秒	蒲田駅
松浦 功	四三分〇九秒	神奈川地区本部
		横須賀駅

Bクラス(一周)

新井 孝久	二二分〇四秒	八王子地区本部
高橋 隆治	二二分四二秒	立川車掌区
銭座 幹宏	二三分〇三秒	上野支部
		東京土木技術セ



Bクラス(1周) 準優勝 高橋選手 優勝 新井選手 3位 銭座選手



第106回 拡大地方委員会
2/18 (土) 10時開場・10時30分開会
新橋交通ビル 傍聴歓迎

地本定例職場オルグ実施

東京地方本部は、隔月で行っている職場オルグを一月一九日に実施した。今回は、八王子地区本部の協力で、南武線・武蔵野線の各駅の組合員の激励を行い、職場の問題などの聞き取りも行った。南武線・武蔵野線の駅はJESSへ委託されている駅が多く、その全てが夜間は一人というところで、組合員の不安も大きいと訴えていた。



谷保駅で

以前は、駅の構造上車いす対応の警備員を配置していた谷保駅では、エレベーター設置工事が終了したが、障害者スポーツ施設が駅付近にある関係で車いす対応が多い。視覚障害者もあり、蔵駅での転落事故もあったので、警備員を再配置してほしいと訴えていた。

今後も、地方本部は定例で職場オルグを実施していくので、協力をお願いします。

東京地本全分会長会議

3月5日(土) 14時から 田町交通ビル

「がん」の保障 <<新生きるためのがん保険Days>>

保険期間:終身(抗がん剤治療特約は10年更新) 契約年齢:0歳~満85歳
Aプラン 入院給付金日額10,000円の場合

初めて診断確定されたとき	がんの場合	一時金として 100万円
	上皮内新生物の場合	一時金として 10万円
入院したとき	入院給付金	1日につき 10,000円
通院したとき	通院給付金	1日につき 10,000円
手術したとき	手術治療給付金	1回につき 20万円
放射線治療を受けたとき	放射線治療給付金	1回につき 20万円
抗がん剤治療を受けたとき	治療を受けた月ごと	10万円 (給付倍率2倍) (更新後の保険期間を含め通算600万円まで)
(上皮内新生物は対象外) 抗がん剤治療給付金※	乳がん・前立腺がんのホルモン療法の際に治療を受けた月ごと	5万円 (給付倍率1倍) 万円まで)

※Aプランの場合、抗がん剤治療給付金ご希望により取り外すことができます。

がん専門相談サービス プレミアサポート
訪問面談サービスと専門医紹介 ベストドクターズ®サービス(プレミアムタイプ)
(このサービスは、株式会社 法研が提供するサービスです)
Best Doctors®およびベストドクターズは、Best Doctors, Inc.の商標です。

◎詳しくは、「契約概要」等をご覧ください。

「生きる」を創る。Afiac

◆月払保険料(集団取扱) (2016年12月14日現在)
新生きるためのがん保険Days Aプラン

入院給付金日額10,000円 定額タイプ 解約払戻金なしタイプ
保険料払込期間:終身(抗がん剤治療特約は10年更新)

	35歳	45歳	55歳	65歳
男性	3,450円	5,400円	8,920円	14,110円
女性	3,800円	5,370円	6,560円	8,050円

<抗がん剤治療特約>の更新後の保険料は更新時の年齢・保険料率によって決まります。

<募集代理店>
アベニール株式会社
〒105-0004 東京都港区新橋5-15-5 交通ビル3F
TEL: 03-3437-6810 FAX: 03-3437-6822

<引受保険会社>
アフラック 東京第二法人営業部
〒163-0456
東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル
当社保険に関するお問い合わせ・各種手続き
コールセンター 0120-5555-95